

# 男女共同参画ひろば いっぱい いっぱい

自分らしく輝ける社会へ



市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぱい いっぱい”取組みを進めています。

問合せ／人権・市民相談課 ☎272

## 男女共同参画キーワード

### 地域で取り組む防災と男女共同参画

災害は、いつどこで起こるかわかりません。誰もが避難所での共同生活を安心して過ごせるよう、日ごろから男女が共に防災会議や町会活動などに参画することが大切です。



しかしながら、防災会議委員や町会長に占める女性の割合は全国的に低く(下記グラフ参照)、当市でも前者の比率は3.3%、後者は3.6%と非常に低い参画率となっています。

避難所生活での炊き出し、介護、子育てをはじめ、間仕切りや更衣室、女性用品の配布、DVや性暴力などの課題へ適切に対応するために、女性の視点で考える取組みを始めませんか。

### 誰もが安心して過ごせる避難所づくりって？

妊産婦や高齢者、障がいのある方だけでなく、セクシュアル・マイノリティなどの多様な性への理解と配慮も大切にしましょう。

#### 避難所を開設するときは、次のことに注意しましょう。

- プライバシーに配慮した仕切りがあるか
- オムツやミルクの準備があるか
- 乳幼児、障がい者、高齢者のいる家庭用エリアはあるか
- アレルギーや特定の疾患などに配慮した備蓄があるか
- バリアフリーに対応しているか
- 個室の物干し場、更衣室、休養スペースなどがあるか
- トイレ付近、浴場、通路の照明は十分か
- リーダーやスタッフの男女比率はちょうど良いか
- 炊き出しなどは当番制などになっているか
- 女性用品などは女性担当者からの配布やトイレ内の配置などがあるか
- 見回りなどの分担はあるか
- 悩みや要望などを相談する場があるか

### 家族で「防災会議」をしましょう

どこに何がしまつてあるのか、災害時の非常食の備蓄はどうするのかなど、「もしもの備え」を普段から家族

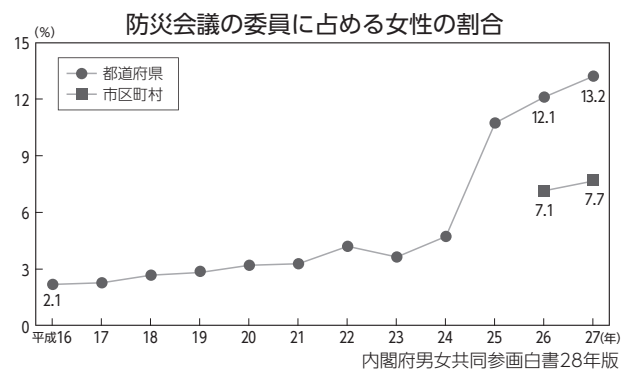
でよく話し合しましょう。

保育園の送迎や介護なども普段から家族で役割分担しておく、とっさのときに安心です。

また、普段からお互いの仕事や用事の予定などを把握しておく、緊急時にも対応ができます。

### 一人ひとりができることをする

「炊き出しや育児は女性」、「リーダー的役割や力仕事は男性」と性別で役割分担するのではなく、炊き出しを男女に関係なく当番制にしたり、女性も男性もリーダーとして活躍していけるよう、一人ひとりの個性を大切に協力し合しましょう。



### 育児も！介護も！ 仕事も家庭もあきらめない ～勇気をもらおうメッセージ～

大好評につき、元東レ代表取締役の佐々木常夫氏の2回目の講演会を行います。3人の子育てとうつ病の妻の看病、仕事を両立させるための秘訣とは？ビジネス書のベストセラー作家から、ワーク・ライフ・バランスについて楽しく学びましょう。ぜひ気軽にご参加ください。

とき／8月28日(日)午後2時～4時(1時30分開場)

場所／鶴瀬コミュニティセンター

定員／250人(無料、申込順) ※手話通訳・要約筆記・保育あり(1歳～未就学児、要予約)

講師／佐々木常夫氏 主催／市、富士見市男女共同参画推進会議

申込み／8月1日(月)から午前9時～午後5時にFAXまたは電話で

※市ホームページからも応募可。右のコードからも講演会の内容がご覧になれます。

問合せ／人権・市民相談課 ☎272 FAX 049-254-2000

